



みどり  
水土里ネット

21世紀の農の夢を創る

ホームページアドレス

<http://www.midorinet-miyazaki.com/>

vol. **630**

目次

- 1. 新年のごあいさつ 水土里ネット宮崎 会長 丸目 賢一…………… (2)
- 2. 新年のごあいさつ 宮崎県農政水産部 部長 牛谷 良夫…………… (3)
- 3. 新年のごあいさつ 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問 参議院議員 進藤 金日子… (4)
- 4. 新年のごあいさつ 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問 参議院議員 宮崎 雅夫… (5)
- 5. 宮崎県農業農村整備事業推進委員会並びに水土里ネット宮崎が要請活動を実施…………… (6)
- 6. 全国水土里ネットが「農業農村整備の集い」を開催…………… (6)
- 7. 宮崎県が農業農村整備事業予定地区における令和3年度宮農構想発表会を開催…………… (7)
- 8. 国営かんがい排水事業造成施設を維持管理する8つの土地改良区が大規模災害時における相互応援のブロック別訓練を開催…………… (7)
- 9. 令和4年度 農業農村整備事業関係予算概算決定及び令和3年度補正予算の概要 …… (8)

明けましておめでとうございます

会長 丸目 賢一 大淀川右岸土地改良区 理事

副会長 宮原 義久 小林 市長

西川 和孝

常務理事 宮下 敦典

理事 牛谷 良夫 宮崎県農政水産部長

中別府尚文 国 富 町 長

川野 恒道 宮崎市生目土地改良区 理事

池田 宜永 都 城 市 長

山口 長徳 えびの市土地改良区 理事

日高 昭彦 川 南 町 長

土屋 公俊 新富土地改良区理事長

読谷山洋司 延 岡 市 長

原田 博史 延岡市土地改良区 理事

原田 俊平 五ヶ瀬 町 長

代表 山元 陸愛 吾田土地改良区理事長

監 下沖 常美 山新土地改良区理事長

事 甲斐 昭男 浜之瀬土地改良区 理事

# 新年のごあいさつ

水土里ネット宮崎 会長  
丸目 賢一



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日頃より本会の業務運営並びに農業農村整備事業の推進に多大なるご尽力とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年も、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が全国で長期間発令されるなど、新型コロナウイルスに翻弄された一年となりました。本県におきましても、リモートワークやweb会議といった新たな業務形態が定着する一方で、人と人との直接的な繋がりはまだ制限されるなど、我慢を強いられております。今は一刻も早い収束による安全安心な日常生活を願うばかりです。

さて、先月閣議決定された国の農業農村整備事業関係予算案は、令和4年度当初予算と令和3年度補正予算を合わせて6,300億円となり、本年度と同等の予算が確保されました。その内、農業農村整備事業の重点項目として「農業の成長産業化に向けた農業生産基盤整備」、「農業水利施設の戦略的な保全管理、防災・減災対策」、「農村整備（田園回帰・農村定住促進）」が掲げられ、農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を力強く推進されることとなっております。これら事業の創設や拡充、それに伴う予算の確保などは進藤金日子議員と宮崎雅夫議員のお二人が地域に寄り添い、現場からの強い要請と関係者の熱意をしっかりと関係省庁へ届け、農業農村整備事業の必要性について国政の理解が深まった成果であると確信しております。

また、県におかれましても昨年3月に策定された「第八次宮崎県農業・農村振興長期計画」において、持続可能な魅力あるみやざき農業の実現を目標に、今後5年間の具体的な施策として、スマート生産基盤の構築のため、水田の汎用化と畑地かんがいによる土地生産性の向上を図るとともに、災害に強く安全な生産基盤の確立として、防災重点農業ため池の補強・管理強化や農業用施設の長寿命化等を進めることとされております。

本会といたしましても、国、県の施策に適切に呼応し、本年4月から県内全ての土地改良区に本格導入される貸借対照表の作成への対応や、2025年度までに土地改良区等において理事に占める女性の登用割合を全体の10%にするといった新たな環境づくりに対しましても必要な支援をして参りますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が会員各位並びに関係機関の皆様方にとりまして幸多く、笑顔あふれる一年となりますことをご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

# 新年のごあいさつ



宮崎県農政水産部 部長  
牛谷 良夫

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から本県農業・農村の振興に格別の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

● 昨年は、新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大に見舞われ、県民生活や地域経済に大きな影響が及び、農業分野においても、農産物の出荷量の減少や燃料の価格高騰など様々な影響が生じたところです。県としましては、引き続き、徹底した感染防止対策に取り組むとともに、本県経済の早期回復、発展に向けて全力で取り組んでまいります。

さて、我が国は、本格的な少子高齢化・人口減少時代を迎えており、本県農業においても担い手の減少・高齢化や集落の衰退が現実のものとなりつつあります。加えて、地球温暖化等に伴う大規模な気象災害の増加、世界的なSDGsの取組の広がり、コロナ禍等を契機とした自然資本に立脚した農業の価値や重要性を見直す動きなど、農業を取り巻く環境は大きく変化しています。

● このような中、県では、本県農政の指針となります「第八次宮崎県農業・農村振興長期計画」を昨年4月からスタートさせており、「新防災」と「スマート化」を新たなキーワードとして、各地域の特長を生かした持続可能な魅力あるみやざき農業の実現に向けて取り組んでおります。

その中で、農業農村整備事業においては、省力化や生産性向上を図るためのスマート農業に対応したほ場整備や畑地かんがい施設整備を推進するとともに、防災重点農業用ため池の補強対策工事や農業水利施設の整備による防災減災対策等を強化することとしており、事業の実施にあたっては、国の経済対策等と連動させながら、しっかりと推進してまいります。

こうした取組を進めていく上で、土地改良区の役割は非常に重要であり本年4月から義務化される貸借対照表の作成など、改正土地改良法等への対応を契機として、経営分析や組織・運営体制の強化・充実などを図り、土地改良区の潜在力を最大限に発揮されることを期待しております。

● 会員の皆様におかれましては、農業生産の振興はもとより、土地改良事業を契機とした農地のフル活用、農業用施設の適正な保全管理など、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

新しい年が、会員の皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の御挨拶といたします。



# 新年のごあいさつ

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問

参議院議員 **進藤 金日子**



新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、宮崎県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、○農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、○「農地耕作条件改善事業」の助成対象に除草機器を追加、○省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、○「農地耕作条件改善事業」等の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等を追加、○「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、○「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線で政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。宮崎県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心から申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心から祈りいたしております。

# 新年のごあいさつ

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問  
農林水産大臣政務官 参議院議員 **宮崎 雅夫**



新年明けましておめでとうございます。宮崎県の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年10月に発足した岸田内閣ならびに11月の第二次岸田内閣において、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導と宮崎県の皆様のご支援により、農林水産大臣政務官を拝命いたしました。本年も気持ちを新たに、現場第一主義に徹しながら皆様のご意見をお伺いしつつ、活動を展開して参る所存ですので、引き続きご指導いただきますようお願い申し上げます。

さて、ここ2年におよぶ新型コロナウイルス感染症の影響により、数次に亘る緊急事態宣言の発令や自粛要請等に伴い、日常生活や社会経済活動など多方面に影響が及び、農林漁業の現場も例外ではありませんでした。加えて、農山漁村では、人口減少や高齢化の進行による従事者不足、資材価格や燃油の高騰など、多くの課題を抱えています。これから迎える可能性があるウィズコロナの時代において食料の多くを輸入に頼る我が国にとって、コロナの影響により19カ国で農産物や食品の一時的な輸出規制が実施されたことを踏まえれば、経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料安全保障の確立のため、我が国の農林水産業の持続的な発展は不可欠であり、そのためには農業者等の所得を確保し、農業・農村が持つ多面的機能を持続的に発揮する施策の推進が重要となります。

昨年末に閣議決定した、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく令和3年度第一次補正においては、「デジタル田園都市国家構想」の推進による地方経済の基盤となる農林水産業の活性化、コロナの影響で減退した農林水産物への需要喚起等の支援、農林水産業を地域の成長産業とする輸出力強化や輸出産地支援、農業の生産現場におけるデジタル技術の実装等を通じたスマート化推進対策、さらには、気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害等に対応する、防災・減災、国土強靱化の取組強化、農業インフラの老朽化対策や流域治水等の予防保全の強化が網羅されています。これから国会で議論される、みどりの食料システム戦略の実現に向けた政策の推進やカーボンニュートラル実現等、農林水産業の成長産業化や農山漁村の活性化等を推進するための令和4年度の当初予算と合わせて円滑かつ効果的に各種対策が進められるよう、引き続き進藤金日子議員とともに早期成立に向けて頑張ってお参ります。

今年の夏には私達にとって重要な闘いがあります。これからも皆様とともに土地改良を推進し、農山漁村の未来の礎を築き、日本の命綱とすべく、進藤金日子議員とともに一所懸命に取り組んで行けるよう、宮崎県の皆様には引き続き格段のご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとってよりよい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。



## 宮崎県農業農村整備事業推進委員会並びに水土里ネット宮崎が要請活動を実施

去る11月4日から5日にかけて、宮崎県農業農村整備事業推進委員会（宮原義久委員長：小林市長）並びに水土里ネット宮崎（丸目賢一会長）は、農林水産省並びに財務省、県選出国會議員、関係国会議員へ要請活動を行った。



牧元幸司農村振興局長への要請



阿久澤主計局次長への要請



松下新平参議院議員への要請

宮原委員長は、水田整備率、畑地かんがい施設整備率ともに低水準の本県において「賢く稼げる農業」、「あらゆる危機事象に負けない持続可能な農業」の実現を図り、魅力あふれる農業・農村を達成していくため、下記事項について強く要請をした。

### 記

- 要請事項1：農業農村整備事業を計画的に推進するため、令和4年度概算要求額について、満額の予算措置
- 要請事項2：令和3年度農業農村整備事業を着実に実施するため、必要に応じた補正予算措置
- 要請事項3：『防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策』については、2年目以降も1年目と同様に十分な予算措置
- 要請事項4：土地改良区運営への女性参画など、組織体制強化に向けた対策について、十分な予算措置

## 全国水土里ネットが「農業農村整備の集い」を開催

去る11月16日、全国水土里ネット（二階俊博会長）は、砂防会館別館（シェーンバッハ・サポー）にて、全国の土地改良関係者及び国会議員約600名出席のもと、「農業農村整備の集い」を開催した。

集いは、全国の農業農村整備事業関係者が一堂に会し、現下の情勢を共有するとともに、農業農村整備事業の推進を図ることを目的に開催されている。

二階会長は主催者を代表して「進藤金日子議員と宮崎雅夫議員が車の両輪となり、全国の土地改良関係者と力を合わせ、令和4年度の土地改良予算を地元の要望に応える規模で確保することが最も重要である。」と述べ、関係者の一致団結を強く訴えた。

引き続き、土地改良区における男女共同参画を先駆的に実践された故藤井チエ子水土里ネット山口理事と本県の奥村千扶子水土里ネット大島堰理事長ご両名の功績に対して、二階会長より感謝状の授与式が執り行われた。



全国水土里ネット 二階会長



授与式の様子 奥村理事長(中央)



感謝状

## 宮崎県が農業農村整備事業予定地区における令和3年度営農構想発表会を開催

去る12月14日、宮崎県は宮崎県土地改良会館4階研修室にて、水土里ネット役員及び関係者約140名出席のもと、農業農村整備事業予定地区における営農構想発表会を開催した。同発表会は、事業を進める上で前提となる、将来の農地利用や販路を見据えた作付品目の選定など、各地域の課題や状況を踏まえ農業者自らが策定した「営農構想」の実現に向けた取組を関係者に発信することで、更なる意欲の向上や同様の課題を抱えている地域へ波及していくことを目的とし、平成30年度から開催している。

はじめに、戸高久吉県農村計画課長が主催者を代表して「営農構想実現のためには、県、市町村やJA、土地改良区などの関係機関をはじめ、基盤整備を担当する農業土木職員や農業改良普及員、営農指導員などが連携して、バックアップしていくことが必要である。」と挨拶した。

発表に移り、はじめに川崎和久小松・跡江地区基盤整備事業委員会委員長が、受益関係者へ行ったアンケート結果を基に「今後も農業従事者の高齢化と減少が進行することは確か。今回の事業を契機に、農地環境だけではなく社会環境にも貢献することで、次世代へより良い未来を継承することを目指し、わがふるさとの危機を乗り越えたい。」と話した。

続いて、奥村千扶子水土里ネット大島堰理事長が「本地域では、超早場米の収穫後に裏作として玉ねぎを試作している。今後も高収益作物の試作に挑戦し、安定的な営農の確立に繋げたい。」と話した。

### 【発表内容】

小松・跡江地区(宮崎市)：「よりよい地域を未来へ継承するために」小松・跡江地区基盤整備事業委員会 委員長 川崎 和久  
大島堰北部地区(串間市)：「地域のために夢を語る」大島堰土地改良区 理事長 奥村 千扶子



発表会の様子



小松・跡江地区 川崎委員長



水土里ネット大島堰 奥村理事長

## 国営かんがい排水事業造成施設を維持管理する8つの土地改良区が大規模災害時における相互応援のブロック別訓練を開催

去る11月10日、相互応援協定を締結する県内8つの土地改良区（綾川総合、大淀川右岸、大淀川左岸、都城盆地、西諸、一ツ瀬川、川南原、尾鈴連合）は、川南町役場と切原ダムにて土地改良区及び関係者約30名出席のもと、大規模災害時における相互応援のブロック別訓練を開催した。本訓練は、大規模災害が発生した際に円滑な相互応援を行う体制の構築を目的として定期的に行っている。

はじめに、上野光正水土里ネット尾鈴連合副理事長（水土里ネット小丸川理事長）が挨拶し、続いて前野芳和九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所企画課長、戸高伸幸宮崎県児湯農林振興局農村計画課長が挨拶をした。

引き続き行われた室内研修では、ドローン操作の基礎知識として飛行に係るルールや許可申請方法を水土里ネット宮崎が説明した。

次に、訓練担当組織の水土里ネット尾鈴連合が、尾鈴地区の概要と今回の訓練内容について説明。その後、出席者を7班に分け「地震により複数箇所パイプラインの漏水事故が発生し、主要施設（7箇所）の制水弁止水作業を実施する」という想定のもと、スマートフォンの地図アプリを活用し、指定された施設へ向かう訓練が実施された。訓練後には、地図アプリに登録されていない道路（林道等）があり、案内だけでは容易に到達できない施設があることも判明するなど、収穫の多い訓練となった。

最後に、切原ダムにて今村太輔九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所企画課水利指導係長と水土里ネット宮崎がドローン操作実演と活用事例の紹介を行った。出席者は、自動車等で人的に向かうと相当の時間を要する場所の定期的な施設管理や災害発生時に大いに役立つ機能であると興味を示した。

今後も、合同訓練を重ねることにより、8つの土地改良区間の連携と結束を高め、大規模災害時に備えていく事としている。



上野副理事長の挨拶



室内研修の様子



ドローン操作実演の様子



実演に使用されたドローン



# 令和4年度 農業農村整備事業関係予算概算決定及び令和3年度補正予算の概要

昨年12月、農林水産省は令和4年度農林水産予算概算決定の概要並びに令和3年度補正予算の概要を公表した。農業農村整備事業関係予算概算決定額は、4,453億円(対前年比100.5%)となり、令和3年度補正予算と合わせて6,300億円(デジタル庁計上の政府情報システム予算15億円を含む)となった。

## 農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

(単位：億円)

	令和3年度 予算額	令和4年度 概算決定額 A	令和3年度 補正追加額 B	合計 A+B
農業農村整備事業 (公共)	3,317	3,322 (100.1%)	1,832	5,154 (155.4%)
農業農村整備関連事業 (非公共)	518	540 (104.3%)		540 (104.3%)
<ul style="list-style-type: none"> <li>農地耕作条件改善事業</li> <li>農業水路等長寿命化・防災減災事業</li> <li>農山漁村振興交付金</li> </ul>				
農山漁村地域整備交付金 (公共) (農業農村整備分)	595	591 (99.5%)		591 (99.5%)
計	4,430	4,453 (100.5%)	1,832	6,285 (141.9%)

(注) 1 このほか、政府情報システム予算の農業農村整備事業関係予算が15億円。  
2 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

## 〈 主な新規・拡充要求事項 〉

### 【農地中間管理機構関連農地整備事業】

- 農地整備事業の対象工種に、これまでの区画整理、農用地造成に加え**農業用排水施設、農業用道路、暗渠排水等**を追加。

### 事業イメージ

機構が借り受けている、まとまりのある農地を対象に区画整理等を実施。  
(機構を通じて、担い手は利用しやすい農地を長期・安定的に借り受けることが可能。)



(施工前)



(施工後)

### 【土地改良施設維持管理適正化事業】

- 防災減災機能等強化対策として、**防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ化・再エネ利用や省力化を図るための施設整備を新設(国費率50%\*)**

### 事業イメージ



※施設整備補修、施設改善整備対策、安全管理施設整備対策、緊急整備補修については30% (従来通り)

### 【お問合せ先】

水土里ネット宮崎  
会員支援課 施設管理係  
TEL：0985-24-3498 (直通)